

絶好調の近本外野手



プロ野球の日本シリーズで3勝2敗とし、38年ぶりの日本一へ王手をかけた阪神タイガース。4日に京セラドーム大阪(大阪市)で行われるオリックス・バファローズとの第6戦には初戦で勝ち星を挙げた村上頌樹投手(25)が先発する。ここまで絶好調の1番打者、近本光司外野手(28)とともに虎党の夢を背負う投打の柱。2人の故郷・淡路島からは熱いエールが送られる。(10面に関連記事)



きょう先発村上投手

ユニホーム姿で職員勤務 南あわじの公民館

虎日本一へ 故郷・淡路島熱く



店内に並ぶサインを紹介する久野弘喜社長＝淡路市久留麻



公民館で展示している村上頌樹投手のグッズ。淡路島内外から訪れるファンも増えている＝南あわじ市賀集

今季、プロ初勝利を含む10勝を挙げ、最優秀防御率のタイトルも獲得した村上投手。日本シリーズ第1戦では7回2安打無失点でオリックスのエース山本由伸投手に投げ勝ち、正念場の第6戦の先発マウンドも任せられることになった。

盛り上がる地元・南あわじ市の賀集地区公民館では、村上投手が着用したユニホームやスパイク、淡路島をモチーフにした阪神グッズなどを展示。職員全員が村上投手のレプリカユニホーム姿で勤務しており「地元の人を顔を合わせれば村上投手の話になる。それぐらい注目度は高い」と10月末まで館長だった飛田千景さん(67)は笑う。

まるで小さな「村上頌樹記念館」のようになり、訪れるファンが日ごとに増えた。横断幕もこまめに更新し、ドラフト指名時から数えて5回を超える。「これまで野球に興味はなかった人も、地元選手の活躍で阪神戦を見始めた」と飛田さん。「さらに充実の体制でエールを送りたい」と日本一に向け思いを強くする。

一方、淡路市では近本選手が東浦中時代に「トライやる・ウィーク」で職業体験し、現在も訪れるというパン店「ブランジェリーフルール」(同市久留麻)の久野弘喜社長(56)が活躍を見守る。

近本選手を少年時代から知る久野社長。中学1年の時、中学校で催したパン教室で将来の夢を聞いた思い出を振り返り「プロ野球選手かパティシエ」と答えていたと目を細める。

グッズ、サインずらり「トライやる」経験のパン店

クラウドファンディング

阪神、オリックス 優勝記念パレード

返礼品として「優勝記念パレード オリジナルグッズ」をお送りします

「一流選手なのに、少年時代から変わらないう素直さや律義さがある、好青年」と久野社長。頼れるチームリーダーに「近本選手の活躍で阪神の日本一が決まったらうれしい」と声を弾ませる。